



平成24年度 文部科学省補助金事業 特別講義「仕事力育成講座」 実施報告書

講義のねらい

従来の大学の授業が知識注入型に傾き、産業界のニーズに応える仕事力のある人材を育成できないという問題意識から、学生たちが将来の社会生活において、仕事力を付けられるようにする特別講義を試験的に開講することにした。

- 講義は①情報活用に必要な論理力、数理解情報活用力を具体的に理解させる
- ②データベース等の情報の活用力、ビジュアルな表現力などを学ぶ
- ③主として口頭によるプレゼンテーションの実践訓練を行う

ことをポイントにしなが、ワーク形式を採用することにより、一方的な知識注入型でない授業を目指すこととした。

最終授業には、就活の場で「自己PR」を行うという仮想状況を設定し、経済団体、企業関係者をゲストに招いて、発表を聞いて講評をしていただいた。同時にそれらの社会人ゲストと学生たちが直接交流する機会を作った。

芦屋大学以外の学生にも広く開放し参加を呼び掛けたが、準備期間が短かったため、結果として実現しなかったのは残念であった。

大学合同自己プレゼン大会 報告

開催日：平成25年3月15日(金) 14:00~17:00
 会場：東カース・キャリアセンター研修室 大阪市中央区南船場 長堀安田ビル6階
 参加学生：21大学・29名
 発表者：8大学・9名
 参加社会人：大学関係：9大学・13名 企業関係：18企業・16名
 主催：芦屋大学
 協力：東カース・キャリアセンター 特別協力：日本教育機構

開催主旨
 芦屋大学の取り組み、24年度文部科学省補助金事業 特別講義「仕事力育成講座」の開催で学んだ社会的実践力を、多くの大学の学生と使い分け、同時に現役企業家・社会人に評価とアドバイスを受けることで、現実の学びが産業界のニーズに対応しているかを見極め、より自立自創的な社会力に高めることを目的に実施。
 ①日本教育機構、(財)カースキャリアセンターの協力により「大学合同自己プレゼン大会」を開催した。

報告
 自分自身の分野に挑戦していくのは、社会に出て必要に...
 自分自身の強みをアピールする...
 自分自身の強みをアピールする...
 自分自身の強みをアピールする...

番外編
 平成25年3月15日開催の番外編「大学合同自己プレゼン大会」レポート(A4)

芦屋大学
 六麓荘キャンパス：〒659-8511 兵庫県芦屋市六麓荘町13番22号 TEL 0797-23-0661
 大阪キャンパス：〒530-0018 大阪市北区小松原町3番3号OSビル12階・16階 TEL 06-6364-3100



<六麓荘キャンパス>
 〒659-8511 兵庫県芦屋市六麓荘町13番22号 TEL 0797-23-0661
 臨床教育学部 教育学科 教育学コース 心理学コース 国際教養コース スポーツ教育コース
 幼児・児童教育コース 特別支援教育コース
 経営教育学部 経営教育学科 経営マネジメントコース 技術・情報教員養成コース 自動車技術コース
 情報・産業デザインコース バレエコース

<大阪キャンパス>
 〒530-0018 大阪市北区小松原町3番3号OSビル12階・16階 TEL 06-6364-3100
 事業承継・起業家コース スポーツマネジメントコース 航空ビジネスコース
 鉄道・交通ビジネスコース

<http://www.ashiya-u.ac.jp>



基礎編

講義① [就職力]と情報活用力の関係 2012/11/17

(内容)「就業力」の定義と特性、情報活用力の関係についてワーク形式で学ぶ
「社会人になるためにはどんなチャレンジが必要か」について、講義とグループワークを実施。最後はグループ別に“チャレンジは、成功することだけでなく、失敗することも学べる”という内容で発表を行い、普段あまり係ることのない他学部・他学科の学生同士が同時に学ぶ有意義な講義初日となった。

講義② [就労力]と情報活用力の関係 2012/12/04

(内容)「就労力」の定義と特性、情報活用力の関係についてワーク形式で学ぶ
「働くために求められる力と情報活用力の関係」という内容の授業を実施。経済産業省が提唱する社会人基礎力のひとつである“考え抜く力”の修得を目指し、PDCAサイクルの回し方を練習するワークを実施。参加した学生一人ひとりが自ら考え、答えを導き出す習慣を身に付けることをポイントに授業を行った。

講義③ [仕事の実践力]と情報活用力の関係 2012/12/11

(内容)「仕事の実践力」の定義と特性、情報活用力の関係についてワーク形式で学ぶ
「仕事における実践する力と情報活用力の関係」として、チームにとって重要なポイントである“コミュニケーション”についての講義を実施。一方的に伝えるだけでなく、しっかりとした意思疎通ができる方法をワークから学び日常生活に生かせるようになることを目的とした。

講義④ 集中講義: 情報活用力診断テストRasti 及び「考える 伝える 分かち合う」情報活用力の理解 2012/12/16

(内容)「情報活用力診断テスト[Rasti]を使用した、情報活用力の理解のための講義
「仕事力育成講座」の講義中に“情報活用力診断テストRasti”を2回実施予定。このテストは自分の実力を把握できるというメリット以外に、2度受けることにより学生自らの情報活用力の成長度合いを測れる内容とした。

講義⑤ 集中講義: 論理力トレーニング・数理力トレーニング・情報検索 2012/12/16

(内容) 情報活用力に必要な、論理力・数理力・情報活用力の修得
簡単なテーマでディベートを行い、人を納得させる情報の使

い方を学ぶ講義を実施。併せて、インターネットでの情報収集のメリット・デメリットを学習し、より信頼性の高い情報提供の方法を身に付けることを目的とした。

講義⑥ 集中講義: データベースの理解促進・数値分析・ビジュアル表現 2012/12/16

(内容) 情報活用力に必要な、データベースへの理解、数値分析、ビジュアル表現の修得
実際のデータベースを活用している商品に触れ、データベースの重要性、それによって得られる動機づけを体感し、収集したデータベースを活用し、人にわかりやすくみせるビジュアル作成のワークを実施、効率的に人に伝えることができる表現方法を学んだ。

応用編

講義⑦ 自己体験からのキャリアビジョンへの関連付け 2012/12/18

(内容) 習得した情報活用力を生かし、自信のキャリアビジョンの設計実習を行う
「自己体験からのキャリアビジョンへの関連付け」として自分の経験を振り返るワークと、現在の客観的な印象をお互いに評価しあうワークを実施。次回の講義とあわせて最終的にキャリアビジョンを創りだす講義内容とした。

講義⑧ キャリアビジョンの言語化・チームビルディング研修 2013/01/08

(内容) 習得した情報活用力を活かし、キャリアビジョンの言語化・チームビルディング研修を学ぶ
「キャリアビジョンの言語化・チームビルディング研修」というテーマで前回から引き続きキャリアビジョンをつくりあげる講義内容とした。近い将来から遠い将来まで自分のキャリアをイメージし、チーム内で宣言しあうということによって、より具体的なものを目指した。

講義⑨ 他者への発表におけるフィードバックとコミュニケーションの体験 2013/01/15

(内容) 修得した情報活用力を活かし、他社への発表におけるフィードバックとコミュニケーションの体験を実施することにより、応用力を身につける
講義内では「他者への発表におけるフィードバックとコミュニケーションの体験」というテーマでプレゼン実施とチーム内でのフィードバックを繰り返し行った。次回以降の、プレゼンをテーマとした研修とあわせてスキルの修得を目指した。

講義⑩ 集中講義:「プレゼンテーション研修・コミュニケーション研修 2013/01/20

(内容) 修得した情報活用力を活かし、プレゼンテーション研修・コミュニケーション研修を実施し、応用力を身につける
プレゼンテーションの基本的考え方である、コミュニケーションは発表者の2W1H(誰が、何を、どのように)に依存することから、ノンバーバルコミュニケーションの強化を前回に引き続き行った。限定された言葉を等しく発表することにより出てくる結果の違いを理解し、プレゼンテーションスキルの強化に生かすことを目的とした。

講義⑪ 集中講義: 自己PRの考え方、必要性・客観的分析ワーク 2013/01/20

(内容) 修得した情報活用力の活かし、自己PRの考え方、必要性・客観的分析ワークを実施し、応用力を身につける
模擬面接を実施し自己PRを発表。さらに学生自ら面接官を体験させることで自分がどのように見られているかを体感した。就職活動において学生が社会人からどのように見られているかを実感し今後の取組内容に活かせるような講義内容とした。

講義⑫ 集中講義:「情報活用力診断テストRasti」及び企業への自己PR実習の演習・グループ分け 2013/01/20

(内容) 「情報活用力診断テストRasti」を使用した、情報活用力理解のための講義と企業への自己PR実習の演習を実施

■情報活用力診断テスト「Rasti」とは■
産官学の共同プロジェクトとして開発されたもので、地域や産業界のニーズに応えられる実践的人材育成のための具体的手段として、社会人基礎力や人間力のコアスキルをWEBテストで診断するもの。

実践編

講義⑬ プレゼンテーション実習 1 2013/01/22

(内容) より実践的な習得を目指し、プレゼンテーション実践を行うための準備
「プレゼンテーション実習」の1回目として実施。講師2名が実際に評価者となり、学生のプレゼン内容に対して論理的な言葉の使い方と考え方の修得を目指したための指導・アドバイスを行った。



[就活ドラフト]グループディスカッション



[就活ドラフト]自己PR

講義⑭ プレゼンテーション実習 2 2013/01/29

(内容) より実践的な習得を目指し、プレゼンテーション実践を行うための準備
「プレゼンテーション実習」の2回目として実施。1回目と同様に講師2名が実際に評価者となり、学生のプレゼン内容に対して指導・アドバイスを行った。今までの授業の総まとめとして行われたため参加学生の真剣な姿勢がみられた。

講義⑮ [就活ドラフト] プレゼンテーション実践 2013/02/07

(内容) より実践的な習得を目指し、【就活ドラフト】プレゼンテーションの実践
この授業の最後に経済団体、行政、企業などからゲストを招き、その前で自己PRを行う「就活ドラフト」と呼ぶ発表会を開いた。慣れた授業の場ではなく、模擬的とは言え、現実社会人から厳しいが親切なアドバイスを聞いて、学生たちは大いに得るところがあった。
ゲストの評価による発表優秀者の表彰も行われた。

番外編「大学合同自己プレゼン大会」 2013/03/15

授業終了後他流試合とでもいうべき機会があり、芦屋大学の成績優秀者と他大学の選抜者とのプレゼンテーション対決を行った。幸い芦屋大学の優勝者が優勝できたが、今後も多くの大学からの参加者の中で、このような行事が行えるように工夫してゆきたい。

総括

第1回の授業として多くの成果があった。それは
1 一方的な知識注入型の授業でなく、ワーク形式の授業が試みられたこと
2 知識だけでなく、模擬的な場であっても、多くの社会人の前で発表する体験が出来たこと
3 今まで機会がなかった社会人と交流して直接話が出来たことなどが挙げられる。

一方反省点としては内容に改良すべき点があること、授業成果をチェックするテストの改良を要すること、広く芦屋大学以外の学生の参加が出来るような工夫が必要であることが挙げられる。

「仕事力育成講座」講師プロフィール

岩元 翔

東証一部上場の人財広告会社にて、1,000名以上の学生へのキャリアカウンセリング、面接、セミナーなど実施。現在、その経験を活かし、人事部門のコンサルタントとして独立し、学生への就活支援講師、経営者・人事担当への面接指導などを行っている。

五味田 匡功

社会保険労務士・中小企業診断士として500件以上の企業サポートを経験。過去の経験から得た企業の本音や実態について学生に伝える講義も行っている。



講義「社会人になるためにはどんなチャレンジが必要か」



ワーク「PDCAサイクルの回し方の練習」



模擬面接「学生自ら面接官を体験」